

一般社団法人ウォーターフロント協会

『汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度』

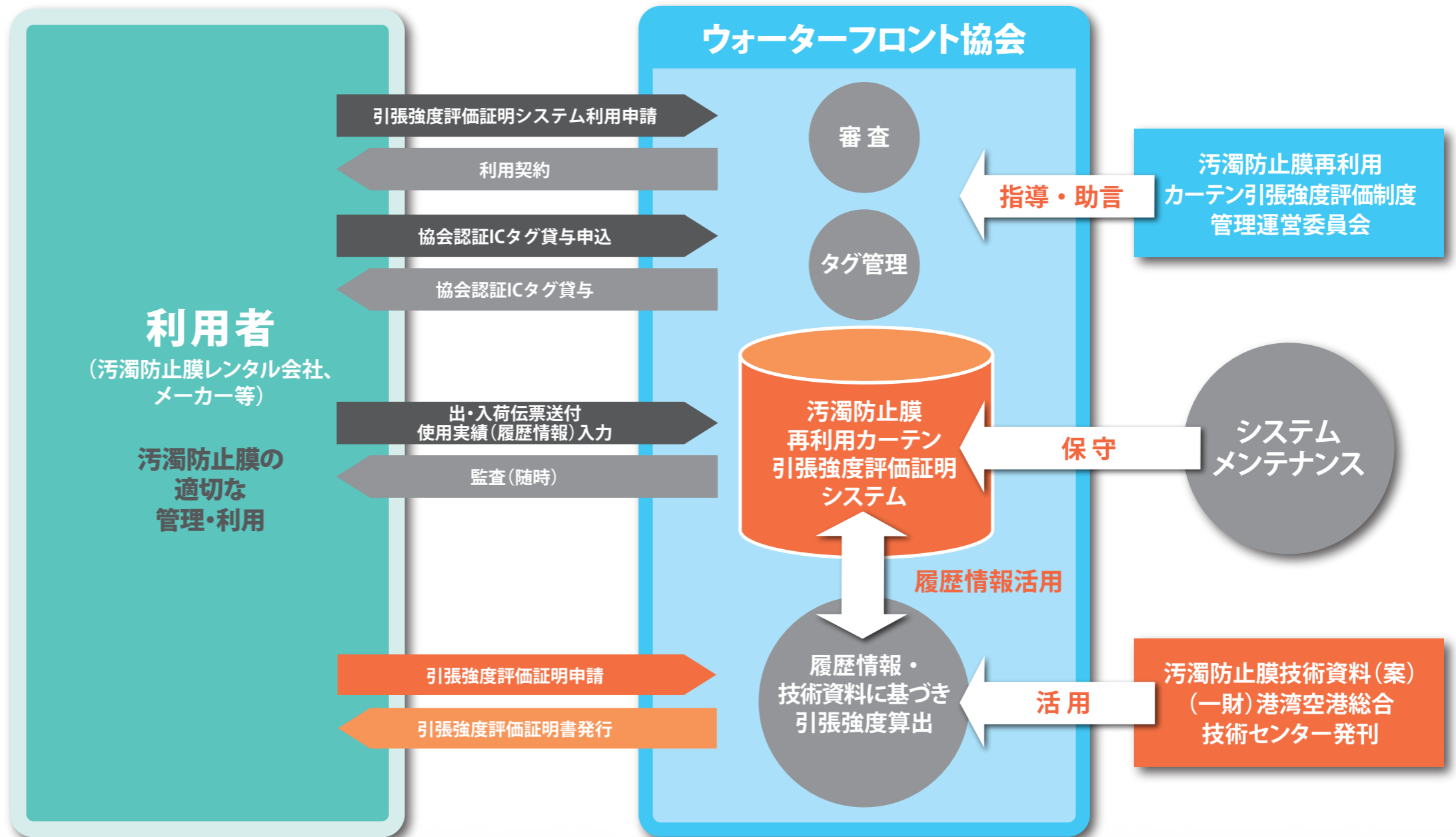




2015年『汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度がスタートします』

この制度では、協会認証ICタグによりカーテンの使用履歴を管理し、その管理データ（製造年月日、使用実績）から再利用カーテンの引張強度評価値を速やかに確実に算出できます。

● 汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度のしくみ



● 港湾工事等における汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価の流れ



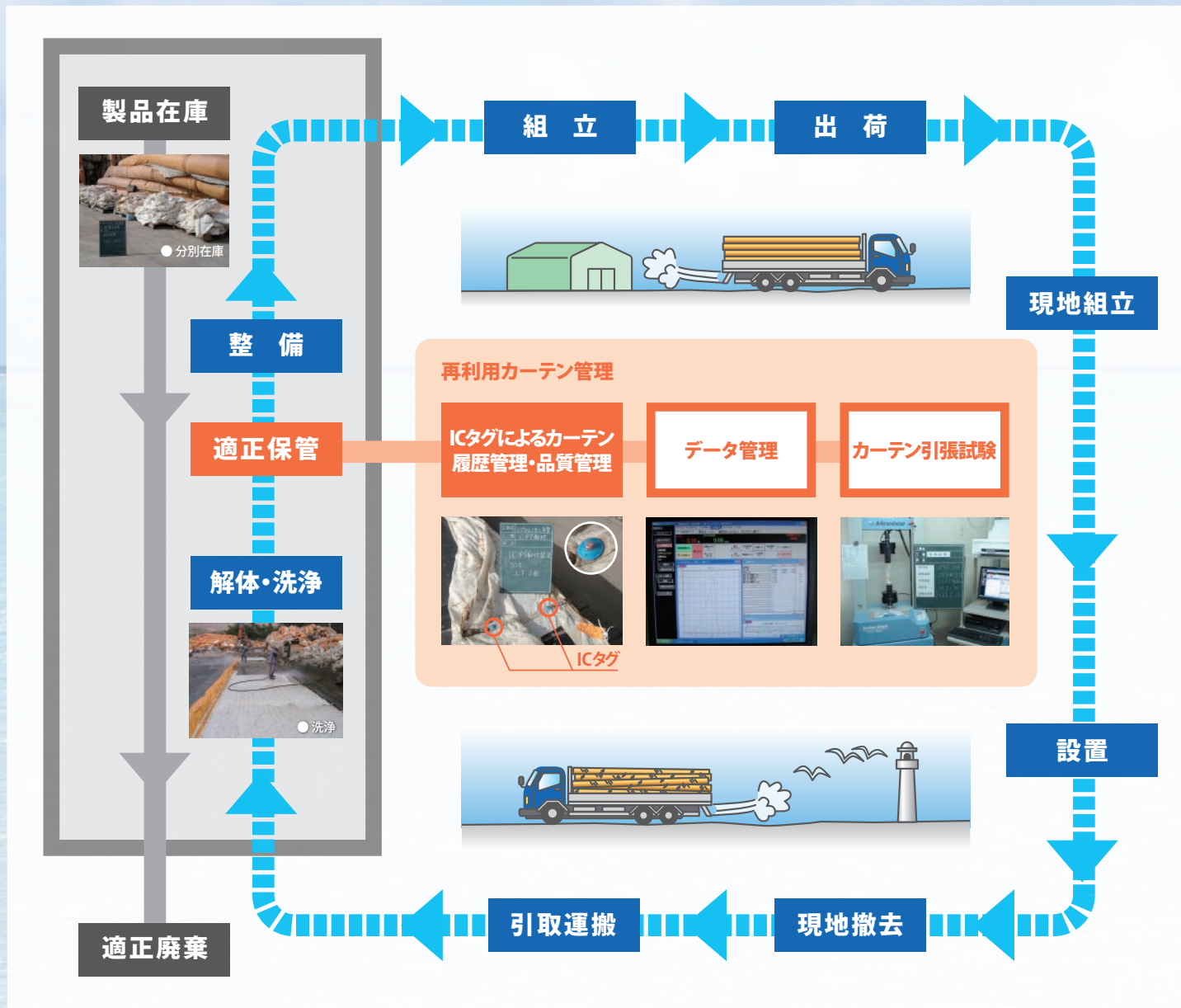
汚濁防止膜は、港湾工事等において汚濁が発生する場合、その拡散を防ぎ、環境を保全するものとして広く活用されてきました。そして近年、汚濁防止膜カーテンについては再利用品を使うことが多くなってきました。

汚濁防止膜カーテンに用いられているポリエステル織布は、使用環境、使用期間、使用方法等により程度が異なるものの、一般に経年劣化により大幅に強度低下する性質をもっています。

当協会においては、再利用カーテンについて、使用期間と経年劣化の関係を明らかにするため、一般財団法人港湾空港総合技術センター(SCOPE)とともに、実態調査を含めた技術的検討を進めてまいりました。その成果を踏まえ、平成25年9月、「汚濁防止膜技術資料(案)」がSCOPEより発行されました。

これをもとに、当協会は海洋環境保全技術委員会を設置し、汚濁防止膜再利用カーテンの引張強度を評価することについて所要の検討を進めてきたところでありますが、この度、新しく「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度」を創設し、運用することと致しました。

汚濁防止膜再利用カーテン管理の流れ



背景

- 海洋環境保全
- 建設リサイクル(建設資源の有効利用)
- 海上工事での品質確保(強度評価により再利用カーテンの信頼性担保)

再利用カーテン管理のしくみ

- 履歴管理: 汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度の活用
- 品質管理: 汚濁防止膜技術資料(案)に基づく管理



一般社団法人 **ウォーターフロント協会**

<http://www.waterfront.or.jp/>